

# 平成18年度総会

日時:平成18年5月27日(土)  
会場:大阪国際会議場 1202号室



社団法人

**日本超音波医学会**

〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-1  
クロセビア本郷3F

U R L : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsum/>

T E L : 03-3813-5540

F A X : 03-3816-7644

E-Mail : [office@jsum.or.jp](mailto:office@jsum.or.jp)

# 平成18年度総会次第

日時：平成18年5月27日(土) 12時30分～13時30分

会場：大阪国際会議場 12F 1202号室

開会		理事長
議長選出		理事長
理事長挨拶		理事長
議題		
1.平成17年度事業報告	(資料1)	庶務担当理事
2.平成17年度収支決算報告	(資料2)	財務担当理事
3.平成17年度収支決算監査報告	(資料3)	監事
4.平成18年度事業計画(案)	(資料4)	庶務担当理事
5.平成18年度収支予算(案)	(資料5)	財務担当理事
6.平成18・19年度役員及び評議員の選任	(資料6)	理事長
7.会員の除名	(資料7)	理事長
8.名誉・功労会員推薦	(資料8)	理事長
9.その他		
次期理事長挨拶		次期理事長
議事録署名人の選出		議長
閉会		議長
名誉会員の表彰		理事長
功労会員の表彰		理事長
第8回特別学会賞表彰		理事長
第6回技術賞表彰		理事長

(資料1)

## 平成17年度事業報告

(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)

平成17年度における本会の事業報告は次のとおりである。  
. 会員現況

(平成18年3月31日現在)

会員種別	平成17年3月31日 現在数	平成18年3月31日 現在数	増 減	備 考
名誉会員	14	14	0	
功労会員	29	31	+ 2	
正会員	8,288	8,121	- 167	
準会員	5,076	5,242	+ 166	
学生会員	6	10	+ 4	
賛助会員	24(75口)	24(75口)	0	
計	13,437	13,442	+ 5	

### 名誉会員(\*物故者)

\*青柳健次郎 \*加藤金正郎 \*菊池喜充 \*田中憲二 \*吉田常雄 \*吉岡勝哉  
\*永山徳益 \*金子仁郎 \*安藤吉純 \*古賀孝 \*海老名敏明 \*板原克哉  
\*岡益尚 \*奥山大太郎 \*藤山弘 \*井出正男 \*奥島基良  
林 周一 刀什・ダン 有賀 槐 三 和賀井敏夫 シシ・ワカド 仁村泰治  
中島 茂 尾本良三 竹原 靖 明 福田 守道 渡邊 決 松尾裕英  
平田 經 飯沼 一 浩

(以上31名)

学会誌

1. 「超音波医学」(和文誌)第32巻Supplement号(年次学術集会抄録号)、第32巻3号から6号と第33巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol. 32 No. 2からNo. 4とVol. 33 No. 1までの4冊、計11冊を発行した。
2. 日本超音波医学会アーカイブスの準備、及び一部デジタル化を行った。(「Medical Ultrasonics」Vol. 5(1967)～Vol. 10(1972))のデジタル化)

巻 号	和 文 誌							英 文 誌				
	32-Suppl	32- 3	32- 4	32- 5	32- 6	33- 1	33- 2	32- 2	32- 3	32- 4	33- 1	
本文ページ数	580	119	64	52	109	179	105	52	44	86	68	
主 な 論 文 の 数	原著 (Original Article)	-	5 ( 1 )	5 ( 1 )	5 ( 1 )	0 ( 0 )	12 ( 1 )	10 ( 1 )	24 ( 3 )	26 ( 4 )	45 ( 6 )	44 ( 7 )
	症例報告 (Case Report)	-	0 ( 0 )	6 ( 1 )	0 ( 0 )	4 ( 1 )	0 ( 0 )	16 ( 2 )	12 ( 2 )	3 ( 1 )	15 ( 3 )	5 ( 1 )
	翻訳原著 (Translation of Original Article)	-	9 ( 1 )	0 ( 0 )	10 ( 1 )	17 ( 2 )	10 ( 1 )	0 ( 0 )	-	-	-	-
	翻訳症例報告 (Translation of Case Report)	-	0 ( 0 )	0 ( 0 )	6 ( 1 )	0 ( 0 )	7 ( 1 )	0 ( 0 )	-	-	-	-
	総説 (Review Article)	-	0 ( 0 )	22 ( 2 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	26 ( 2 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	特集 (State of the Art)	-	47 ( 5 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	28 ( 5 )	46 ( 4 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	技術報告 (Technical Note)	-	8 ( 1 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	8 ( 1 )	0 ( 0 )
	速報 (Rapid Communication)	-	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	6 ( 1 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	教育 (Educational Note)	-	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	8 ( 1 )	9 ( 2 )
	Letters to the Editor	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今月の超音波像 (Ultrasound image of the Month)	-	3 ( 1 )	1 ( 1 )	2 ( 1 )	2 ( 1 )	2 ( 1 )	2 ( 1 )	2 ( 1 )	1 ( 1 )	2 ( 1 )	2 ( 1 )
	Editorial	-	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	学術集会プログラム	86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	学術集会抄録	480	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	会告	-	13	1	6	7	4	4	-	-	-	-
	研究会報告	-	0	0	2	0	0	5	-	-	-	-
	地方会抄録	-	3	10	7	8	47	12	-	-	-	-
学会ニュース	-	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	
その他	14	26	14	9	32	46	25	12	12	6	6	

( )内は掲載論文等の数

特別学会賞

第7回特別学会賞は、次の1名に授与された。  
伊 東 紘 一(自治医科大学臨床検査医学)

松尾賞

第4回松尾賞は、次の2名に授与された。  
水 重 克 文(高松東病院)  
秋山いわき(湘南工科大学)

技術賞

第5回技術賞は、次の2件に授与された。

Real-time Virtual Sonography(CT画像と超音波画像の融合)技術

三 竹 毅<sup>1</sup>、荒 井 修<sup>1</sup>、大 竹 剛<sup>1</sup>、榊 原 一 洋<sup>1</sup>、安 喰 直 子<sup>1</sup>、杉 山 隆 司<sup>1</sup>、大 熊 潔<sup>2</sup>、  
押 尾 晃 一<sup>2</sup>、新 本 弘<sup>2</sup>、岩 崎 隆 雄<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>株)日立メディコ技術研究所、<sup>2</sup>慶應義塾大学、<sup>3</sup>東北大学)

動脈壁弾性特性計測システム

川 淵 正 己<sup>1</sup>、萩 原 尚<sup>1</sup>、反 中 由 直<sup>1</sup>、加 藤 真<sup>1</sup>、鈴 木 隆 夫<sup>1</sup>、橋 本 雅 彦<sup>1</sup>、砂 川 和 宏<sup>2</sup>、  
金 井 浩<sup>3</sup>、長 谷 川 英 之<sup>3</sup>、小 岩 喜 郎<sup>3</sup>、市 来 正 隆<sup>4</sup>、手 塚 文 明<sup>5</sup>、  
(<sup>1</sup>松下電器産業(株)、<sup>2</sup>(株)パナソニックモバイル仙台研究所、<sup>3</sup>東北大学大学院、<sup>4</sup>東日本旅客鉄道(株)、<sup>5</sup>仙台医療センター)

菊池賞(論文賞)

第19回菊池賞(論文賞)は、次の5編に授与された。

基礎領域

Ultrasonically induced cell damage and membrane lipid peroxidation by photofrin II: mechanism of sonodynamic activation .....E31(1)  
Nagahiko YUMITA<sup>1</sup>, Shin-ichiro UMEMURA<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>Toho University, <sup>2</sup>Hitachi Ltd)

循環器領域

腹部大動脈瘤内にみられる時計回転方向螺旋流の臨床的意義について：超音波ドプラ法による観察 .....31(4)  
枋 尾 人 司、岡 部 純 弘、岩 崎 信 広、大 下 幸 江、浜 田 一 美、中 村 仁 美、小 形 恵 子、曾 我 登 志 子、  
藤 本 敏 明、織 野 彬 雄  
(神戸市立中央市民病院)

Left atrial wall motion velocity measured by the velocity profile method with tissue Doppler echocardiography in normal subjects: its relation to aging .....E31(3)  
Naoyasu YOSHIDA, Mitsunori OKAMOTO, Toshiyuki FUKUHARA  
(Hiroshima Prefectural Hospital)

腹部領域

腹部超音波診断における Phase Inversion Tissue Harmonic Imaging の基礎的並びに臨床的研究 .....31(3)  
玉 井 秀 幸  
(和歌山県立医科大学)  
Classification of ultrasonographic images of small hepatocellular carcinoma using galactose-based contrast agent: relation between image patterns and histologic features .....E31(3)  
Yasuo MATSUDA, Iwao YABUUCHI, Toshikazu ITO, Ryoichi ARIMA  
(Otemae Hospital)

奨励賞

第6回奨励賞は、次の4編に授与された。

基礎領域

診断・治療用相変化型超音波造影剤に関する検討  
川 畑 健 一(株)日立製作所中央研究所)

循環器領域

超音波造影法とストレイン法からみた心筋灌流と収縮機能の乖離  
浅 沼 俊 彦(大阪大学医学部)

腹部領域

成人生体肝移植術後の正常肝血行動態 超音波ドプラ法による測定  
杉 本 博 行(名古屋大学)

産婦人科領域

先天性横隔膜ヘルニアにおける肺低形成の出生前診断に関する検討  
吉 村 秀 一 郎(長崎大学医学部附属病院)

・学術集会

第78回学術集会(会長 菅原基晃)は、平成17年5月20日(金)、21日(土)、22日(日)の3日間、東京国際フォーラム(東京都)を会場として開催した。参加人員3,482名、発表内容は下記のとおり。

第78回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 17題 一般演題 259題(基礎 61、循環器 66、消化器 69、泌尿器 7、産婦人科 31、体表 25) ポスター 60題 合計 363題
招請講演	1)Tissue Doppler Echocardiography -a major technical advance with impact on the understanding, diagnosis, and treatment of heart failure- 2)Extracorporeal High Intensity Focused Ultrasound (HIFU) in the Treatment of Solid Malignancies
シンポジウム	1)ストレイン1 -Tissue elastography 2)超音波治療の現状と将来 3)腹部超音波診断の新技术 4)前立腺癌における超音波医学の進歩 5)国際シンポジウム -Wave intensity 6)胎児心機能評価 -特に心不全をどう評価するか 7)ストレイン2 -心筋strainライブシンポジウム 8)子宮頸管の超音波所見とその臨床的意義 9)頸動脈超音波 -診断治療への応用 10)3D画像の進歩 11)血管エコーの標準化に向けて
国際オーガナイズドセッション	1)Arterial Stiffness and Pulse Wave 2)Flow - Mediated Dilatation
パネルディスカッション	1)超音波による膵疾患の診断 2)超音波による消化管疾患の診断 3)造影超音波の新しい映像手法とその臨床的有用性
ワークショップ	1)超音波内視鏡下穿刺による生検(FNAB)と治療応用 2)治療支援画像診断システムとしての超音波 3)超音波による標的イメージングとその治療応用
教育セッション	1)基礎 3題 2)初級 4題 3)中上級 5題
その他	フロントティアテクノロジー ランチョンセミナー 新技術開発セッション
機器展示	27社

・地方会学術集会

下記の地方会学術集会が開催された。

- a. 北海道地方会学術集会
  - 第29回 会長 名取 博  
平成17年10月8日 於：札幌医科大学(札幌市) 参加者：168名 演題数：27題
  - 第30回 会長 三神大世  
平成18年3月4日 於：北海道大学学術交流会館(札幌市) 参加者：299名 演題数：26題
- b. 東北地方会学術集会
  - 第30回 会長 那須雅孝  
平成17年9月25日 於：岩手医科大学(盛岡市) 参加者：264名 演題数：20題
  - 第31回 会長 沼田 功  
平成18年3月19日 於：長陵会館(仙台市) 参加者：419名 演題数：24題
- c. 関東甲信越地方会学術集会
  - 第17回 会長 石光敏行  
平成17年10月22日～23日 於：パシフィコ横浜(横浜市) 参加者：910名 演題数：47題
- d. 中部地方会学術集会
  - 第22回 会長 高橋正樹  
平成17年7月3日 於：名古屋国際会議場(名古屋市) 参加者：433名 演題数：37題
  - 第23回 会長 奥田喜朗  
平成18年1月22日 於：アスト津(津市) 参加者：239名 演題数：43題
- e. 関西地方会学術集会
  - 第30回 会長 野上浩実  
平成17年9月24日 於：千里ライフサイエンスセンター(大阪市) 参加者：885名 演題数：102題
  - 第31回 会長 片岡慶正  
平成18年2月4日 於：京都テラサ(京都市) 参加者：725名 演題数：121題
- f. 中国地方会学術集会
  - 第41回 会長 春間 賢  
平成17年9月10日 於：倉敷市芸文会館(倉敷市) 参加者：329名 演題数：55題
- g. 四国地方会学術集会
  - 第15回 会長 福家義雄  
平成17年10月1日 於：独立行政法人国立病院機構高知病院(高知市) 参加者：150名 演題数：31題
- h. 九州地方会学術集会
  - 第15回 会長 石橋大海  
平成17年10月2日 於：シーハットおおむら(大村市) 参加者：614名 演題数：63題

## 規約等の制定・改正等

### 1. 改正

- (1) 社団法人日本超音波医学学会契約事務取扱規則(平成17年4月28日改正)
- (2) 社団法人日本超音波医学学会職員給与規則(平成17年12月2日改正)
- (3) 社団法人日本超音波医学学会編集委員会規程(平成17年6月17日改正)
- (4) 社団法人日本超音波医学学会菊池賞(論文賞)選考内規(平成17年6月17日改正)
- (5) 社団法人日本超音波医学学会電子媒体による会員情報の取り扱いに関する申合せ(平成17年6月17日理事会改正)
- (6) 社団法人日本超音波医学学会顕彰委員会規程(平成17年6月17日改正)
- (7) 社団法人日本超音波医学学会研究開発班設置要領(平成17年4月28日理事会改正)
- (8) 社団法人日本超音波医学学会公益事業を実施するために有する基金に関する申合せ(平成17年6月17日理事会改正)
- (9) 社団法人日本超音波医学学会認定超音波工学フェロー資格更新実施内規(平成17年9月30日改正)

## 各種委員会等報告

### 1. 企画委員会(委員長 千田 彰一)

- a. 本学会正会員増についての検討を行った。
- b. 各認定試験の再編についての検討を行った。

### 2. 機器及び安全に関する委員会(委員長 遠藤 信行)

- a. 「超音波の安全」についての調査、啓蒙活動を行った。
- b. 超音波診断機器用プローブの表面温度上昇に関する調査、及び検討を行った。  
また、プローブの劣化に伴う性能評価に関する調査を行った。
- c. 超音波造影剤の安全性についての調査、及び検討を行った。  
特にワーキンググループを構成し、「バブルの安全性に関する動物実験」を行い、理事会等に報告した。
- d. 超音波造影剤の安全性に関する標本資料作成・読影のための検討組織を発足させた。

### 3. 編集委員会(委員長 名取 博)

- a. 「超音波医学」(和文誌)第32巻Supplement号(年次学術集会抄録号)、第32巻3号から6号と第33巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol.32 No.2からNo.4とVol.33 No.1までの4冊、計11冊を発行した。
- b. 日本超音波医学学会アーカイブスの準備、及び一部デジタル化を行った。('Medical Ultrasonics'Vol.5(1967)~Vol.10(1972))のデジタル化)

### 4. 用語・診断基準委員会(委員長 田中 幸子)

- a. 医用超音波用語関係
  - 1) 「医用超音波用語集」(第4版)を発行した。
  - 2) 日本医学会分科会の全てに「医用超音波用語集」(第4版)を送り、整合性を図ってもらうことを要請した。
- b. 超音波診断基準関係
  - 1) 「心機能の標準的計測法とその解説」を完成し、学会誌に公示した。(超音波医学第33巻3号・J Med Ultrasonics Vol.33 No.2)
  - 2) 「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン -腫瘍像形成病変について-」を完成し、学会誌に公示(超音波医学第32巻6号・J Med Ultrasonics Vol.32 No.3)した。
  - 3) 「新生児・乳児の股関節脱臼診断基準の分類とその基準」を完成し、学会誌に公示した。(超音波医学第33巻3号・J Med Ultrasonics Vol.33 No.2)
  - 4) 「眼科領域計測法のためのガイドライン」(案)を完成し、学会誌に公示した。(超音波医学第33巻4号・J Med Ultrasonics Vol.33 No.2)
  - 5) 「肝腫瘍の超音波診断基準」の改訂に向けて小委員会を設置し、検討を行った。
  - 6) 「結節性甲状腺診断基準」(案)の策定のため小委員会を設置し、検討を行った。
  - 7) 「深部静脈血栓症超音波診断ガイドライン」(案)の策定のため小委員会を設置し、検討を行った。
  - 8) 「頸動脈超音波診断ガイドライン」(案)の策定のため小委員会を設置し、検討を行った。

### 5. 保険委員会(委員長 跡見 裕)

- a. 外保連、及び内保連へ診療報酬点数改定、及び新規適用項目を取りまとめて、要望書を提出した。
- b. 他学会、及び関係団体との情報交換を行った。
- c. 会員等から保険診療の査定方針等の意見の収集と整理を行った。

### 6. 国際交流委員会(委員長 工藤 正俊)

- a. 社団法人日本超音波医学学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係  
「社団法人日本超音波医学学会奨学制度実施要領」に準拠して下記の活動を行った。
  - 1) 2005年度JSUM Fellowship研修生2名の研修を実施した。
  - 2) 2006年度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考を行った。
  - 3) 今後の検討課題について、委員会を開催して検討を行った。
- b. 世界超音波医学学術連合(WFUMB)・アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)関係
  - 1) 2007年にバンコック(詳細未定)にて開催される第8回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
  - 2) 2006年にソウル(平成18年5月28日~6月1日)にて開催される第11回WFUMBに学術、広報などの面で協力した。
  - 3) WFUMBとAFSUMBの関連機関誌、及び本学会ホームページにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行った。
  - 4) WFUMBとAFSUMBのEducation Programに講師を派遣し、協力した。
  - 5) 2005年予りで行われたWFUMB理事会に担当理事を派遣し、会議に参加した。

### 7. 教育委員会(委員長 鄭 忠和)

- a. 第78回学術集會会期中の平成17年5月21日(土)、22日(日)に東京国際フォーラム(東京都)を会場として第4回教育セッションを開催し、約1,078名の参加があった。
- b. 第79回学術集會会期中に大阪府にて開催予定の「第5回教育セッション」の企画案を検討し、開催に向けての準備を行った。
- c. 「超音波専門医研修カリキュラム」の英語版作成に向けて、その内容の検討を行った。
- d. 企画委員会より開催要望のあった「超音波診断法講習会」の開催についてを検討し、その結果を企画委員会に答申した。

### 8. 超音波専門医制度委員会(委員長 別府慎太郎)

- a. 超音波専門医認定試験制度の問題点とその解決策を継続して審議してきたが、その解決策の一つとして、平成18年度から実施の超音波専門医認定試験からは受験生自身の専門領域のみの診療実績を求め、筆記試験も専門領域のみ(但し、工学基礎及び臨床の基礎はそのまま)の出題形式として、出題数も各領域毎に見合った出題数とした。また、受験領域についても、これまで「総合」領域に含まれていた「眼科」、「頭部」(「脳神経」に改称)を独立した領域とし、さらに「整形外科」領域を新設することとした。
- b. 平成17年度に認定した研修施設(新規21施設、更新8施設)に対し、平成17年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示した。(超音波医学第32巻2号)

- c. 第15回超音波専門医認定試験を実施し、合格者40名に対して専門医の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成17年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第32巻5号)
  - d. 第11回超音波専門医資格更新を実施し、更新者492名、猶予・保留者15名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成17年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第32巻6号)
  - e. 平成17年度超音波指導医の認定審査を行い、新規24名、及び更新285名の委嘱を行い、学会誌に公示し、併せて平成17年12月1日付で超音波指導医認定証を交付した。(超音波医学第32巻6号)
  - f. 第16回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。(超音波医学第33巻1号)
  - g. 平成17年12月1日現在での超音波指導医・所属施設別一覧を公示した。(超音波医学第33巻1号)
  - h. 第12回超音波専門医更新に関する会告を公示した。(超音波医学第33巻2号)
  - i. 平成18年度研修施設の指定に向けての審査を行い、新規23施設、更新73施設を指定して、平成18年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する予定である。(超音波医学第33巻3号)
  - j. 「超音波ドブラ研究会」等3団体より申請のあった超音波専門医資格更新実施内規における指定超音波関連学会・研究会指定についての審査を行い、新たに指定超音波関連学会に指定し、学会誌に公示した。(超音波医学第32巻3号、第32巻5号、第32巻6号)
  - k. 企画委員会と連携して本学会正会員増についての審議を行った。
  - l. 有限責任中間法人日本専門医認定制機構総会に出席した。
9. 顕彰委員会(委員長 菅原 基 晃)
- a. 第7回特別学会賞の選考を行い、1名を授賞した。
  - b. 第4回松尾賞の選考を行い、2名を授賞した。
  - c. 第5回技術賞の選考を行い、2編を授賞した。
  - d. 第19回菊地賞(論文賞)の選考を行い、5編を授賞した。
  - e. 第6回奨励賞の選考を行い、4名を授賞した。
10. 超音波検査士制度委員会(委員長 竹中 克)
- a. 第21回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,349名に対して検査士の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成18年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第33巻2号)
  - b. 2006年超音波検査士資格更新を実施し、更新者876名、猶予・保留者23名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成18年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第33巻3号)
  - c. 「超音波検査士認定試験問題集」の改訂を行い、超音波検査士の育成と増進を図った。
  - d. 新たに試験領域に「健診領域」を設置し、超音波検査士制度を充実させた。
11. 超音波工学フェロー認定審査委員会(委員長 椎名 毅)
- a. 第7回超音波工学フェロー認定審査を行い、1名に対して工学フェローを認定し、学会誌及びホームページに公示した。(超音波医学第32巻5号)  
また、併せて希望者には平成17年7月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
  - b. 第2回超音波工学フェロー資格更新審査を行い、更新者4名の認定、及び登録を行い、学会誌及びホームページに公示した。(超音波医学第32巻5号)  
また、併せて希望者には平成17年7月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
  - c. 第8回超音波工学フェローの公募実施に関する会告を学会誌及びホームページにて公示した。(超音波医学第33巻2号)
12. 研究開発促進委員会(委員長 里見 元 義)
- a. 平成17年度研究開発班設置申請9件の審査を行い、6件(継続2件・新規4件)の開発班の設置を認可した。
  - b. 第78回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施した。  
また、「特許相談コーナー」を設け、法律事務所の弁護士が対応した。
  - c. 平成17年度研究会設置申請2件の審査を行い、以下2件(継続1件・新規1件)の研究会の設置を認可した。
    - 1) 超音波医学の基礎技術に関する研究会
    - 2) ソノレーション研究会
  - d. 平成18年度研究開発班設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第32巻6号)
  - e. 平成18年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第32巻6号)
  - f. 研究開発班設置班には、研究最終年度の次の学術集會期間中に研究成果の発表を行い、委員会で審査し、結果を学会誌上に掲載することを決定した。また、論文投稿期限を、研究終了後(最終年度の3月31日)6ヶ月以内に厳守させることを決定した。
13. 平成18・19年度選挙管理委員会(委員長 秋山いわき)
- 「社団法人日本超音波医学役員評議員選任規則」に基づき、平成18・19年度役員及び評議員選出について、選挙を実施して開票及び集計作業を行い、結果を理事長に報告した。
14. 倫理委員会(委員長 伊東 絢 一)
- 報告事項なし。
15. 会員資格審査関係(担当理事(主) 谷口 信 行)
- 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行った。
- 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
  - 2) 除名該当者の審査
  - 3) 会員種別変更希望者の審査
  - 4) 休会希望者の審査
16. 学術集會関係(担当理事(主) 松崎 益 徳)
- 第81回学術集會会長候補者について、役員及び評議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定した。
17. 地方会関係(担当理事(主) 岡井 崇)
- 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
- 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。
  - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付した。
  - 3) 地方会学術集會に関して助言を行った。
  - 4) 地方会講習会に関して助言を行った。
18. 規約関係(担当理事(主) 伊東 正 安)
- 本会規約等の制定、及び改正を行った。( 項参照)
19. インターネット関係(担当理事(主) 金井 浩)
- 本学会WEBシステムの以下の設計、及び構築を行った。
- 1) 電子ジャーナル閲覧システム

- 2) 会員データシステム(会員情報登録・変更、及び年会費入金確認)
- 3) 事務局からのメール一斉送信機能
- 4) 研究業績単位の申請確認機能

. 日本医学会関係(担当理事 松崎 益徳)

1. 第73回日本医学会定例評議員会に出席し、次期日本医学会会長、及び副会長の選挙を行った。
2. 日本医学会シンポジウムに協力した。

. 日本学術会議関係(担当理事 松崎 益徳)

1. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加した。
2. 日本学術会議会員候補者に関する情報提供を行った。

平成17年度収支計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科	目	予算額	決算額	差額
基本財産運用収入	基本財産利息収入	20,000	9,000	11,000
会費収入		151,073,000	144,816,500	6,256,500
	正会員会費	( 108,407,000 )	( 101,673,000 )	( 6,734,000 )
	準会員会費	( 39,565,000 )	( 40,112,000 )	( 547,000 )
	学生会員会費	( 21,000 )	( 31,500 )	( 10,500 )
	賛助会員会費	( 3,080,000 )	( 3,000,000 )	( 80,000 )
入会金収入		1,131,000	1,072,500	58,500
広告収入	学会誌	3,320,000	2,310,000	1,010,000
学術集会収入		54,550,000	96,633,965	42,083,965
	参加費収入	( 29,550,000 )	( 38,085,037 )	( 8,535,037 )
	展示収入	( 25,000,000 )	( 58,548,928 )	( 33,548,928 )
地方会関係収入	地方会学術集会収入ほか	48,990,000	43,361,520	5,628,480
学会誌別刷収入		600,000	364,500	235,500
WFUMB会誌収入		1,800,000	1,460,000	340,000
専門医制度関係収入		8,980,000	7,455,000	1,525,000
	認定試験	( 2,160,000 )	( 1,672,000 )	( 488,000 )
	更新認定料	( 5,170,000 )	( 4,532,000 )	( 638,000 )
	資料頒布料	( 1,650,000 )	( 1,251,000 )	( 399,000 )
工学フェロ-制度関係収入		177,000	22,500	154,500
	認定審査	( 177,000 )	( 500 )	( 176,500 )
	更新認定料	( 0 )	( 22,000 )	( 22,000 )
検査士制度関係収入		35,200,000	43,893,000	8,693,000
	認定試験	( 31,350,000 )	( 39,270,000 )	( 7,920,000 )
	更新認定料	( 3,750,000 )	( 4,591,000 )	( 841,000 )
	資料頒布料	( 100,000 )	( 32,000 )	( 68,000 )
教育関係収入		800,000	2,163,000	1,363,000
	教育セッション	( 800,000 )	( 2,154,000 )	( 1,354,000 )
	資料頒布料	( 0 )	( 9,000 )	( 9,000 )
雑収入		2,200,000	1,513,837	686,163
寄付金収入		0	0	0
受取利息		140,000	75,348	64,652
特定預金取崩収入		11,500,000	6,000,000	5,500,000
	学術奨励積立預金取崩収入	( 5,500,000 )	( 0 )	( 5,500,000 )
	松尾賞積立預金取崩収入	( 1,000,000 )	( 1,000,000 )	( 0 )
	研究開発班設置積立預金取崩収入	( 5,000,000 )	( 5,000,000 )	( 0 )
当期収入合計(A)		320,481,000	351,150,670	30,669,670
前期繰越収支差額		0	89,509,606	89,509,606
収入合計(B)		320,481,000	440,660,276	120,179,276

## 支出の部

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
事業費	学会誌経費	56,824,000	64,630,330	7,806,330
	出版費	( 35,955,000 )	( 47,303,884 )	( 11,348,884 )
	発送経費	( 15,653,000 )	( 12,710,937 )	( 2,942,063 )
	編集委員会費	( 1,453,000 )	( 2,159,503 )	( 706,503 )
	英文校正費	( 3,128,000 )	( 2,051,286 )	( 1,076,714 )
	査読通信費	( 635,000 )	( 404,720 )	( 230,280 )
	国際交流関係費	5,600,000	5,572,961	27,039
	奨学金	( 2,400,000 )	( 2,400,000 )	( 0 )
	委員会費	( 300,000 )	( 349,240 )	( 49,240 )
	AFSUMB分担金	( 2,900,000 )	( 2,823,721 )	( 76,279 )
	WFUMB機関誌代	2,700,000	2,484,762	215,238
	学術集会関係費	59,722,000	95,698,618	35,976,618
	学術集会経費	( 59,722,000 )	( 95,698,618 )	( 35,976,618 )
	学術集會会議費	( 0 )	( 0 )	( 0 )
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0
	委員会等関係費	8,517,000	7,898,534	618,466
	地方会関係費	65,696,000	57,020,874	8,675,126
	地方会学術集会経費	( 48,990,000 )	( 39,719,562 )	( 9,270,438 )
	地方会交付金	( 16,386,000 )	( 17,301,312 )	( 915,312 )
	運営委員長会議費	( 320,000 )	( 0 )	( 320,000 )
	専門医制度委員会費	5,200,000	5,978,795	778,795
	専門医認定関係費	( 2,630,000 )	( 3,600,595 )	( 970,595 )
	専門医制度委員会費	( 2,570,000 )	( 1,850,575 )	( 719,425 )
	頒布資料印刷費	( 0 )	( 527,625 )	( 527,625 )
	工学FII-制度委員会費	741,000	0	741,000
	工学フェロー認定費	( 468,000 )	( 0 )	( 468,000 )
	工学FII-制度委員会費	( 273,000 )	( 0 )	( 273,000 )
	検査士制度委員会費	12,900,000	12,430,892	469,108
	検査士認定関係費	( 11,500,000 )	( 11,275,952 )	( 224,048 )
	検査士制度委員会費	( 1,100,000 )	( 929,715 )	( 170,285 )
	頒布資料印刷費	( 300,000 )	( 225,225 )	( 74,775 )
	教育委員会費	5,270,000	5,286,409	16,409
	教育セッション費	( 2,583,000 )	( 4,875,469 )	( 2,292,469 )
	教育委員会費	( 637,000 )	( 410,940 )	( 226,060 )
	生涯教育費	( 2,050,000 )	( 0 )	( 2,050,000 )
	顕彰委員会関係費	6,130,000	4,582,100	1,547,900
	研究開発促進委員会費	18,000,000	11,107,296	6,892,704
	研究開発班設置費	( 15,000,000 )	( 8,649,988 )	( 6,350,012 )
	研究会設置費	( 2,000,000 )	( 1,253,095 )	( 746,905 )
	研究開発促進委員会費	( 1,000,000 )	( 1,204,213 )	( 204,213 )
事業費計		249,300,000	274,691,571	25,391,571
事務費	人件費	38,830,000	39,786,410	956,410
	会計顧問料	425,000	420,000	5,000
	福利厚生費	700,000	610,675	89,325
	法定福利費	4,900,000	4,744,277	155,723
	職員交通費	1,550,000	1,521,980	28,020
	事務所賃借料	7,820,000	7,874,883	54,883
	事務用機器賃借料	710,000	672,210	37,790
	備品費	400,000	0	400,000
	文具消耗品費	800,000	605,611	194,389
	光熱水料	650,000	543,328	106,672
	事務OA化費	500,000	541,240	41,240
	会議費	3,000,000	3,889,532	889,532
	印刷費	1,400,000	911,490	488,510
	通信費	3,400,000	3,645,907	245,907
	公租公課	1,200,000	1,744,500	544,500
	雑費	496,000	398,956	97,044
	払込手数料	1,700,000	1,631,441	68,559
	選挙関係費	2,200,000	1,997,341	202,659
	退職金	0	0	0
事務費計		70,681,000	71,539,781	858,781
特定預金支出	退職給与引当預金支出	0	0	0
	伊東賞基金繰入支出	0	28,036,631	28,036,631
予 備 費		500,000	0	500,000
当期支出合計(C)		320,481,000	374,267,983	53,786,983
当期収支差額(A)-(C)		0	23,117,313	23,117,313
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	66,392,293	66,392,293

正味財産増減計算書  
平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
増加の部		
1 資産増加額		
伊東賞基金増加額	28,036,631	28,036,631
2 負債減少額		0
増加額合計		28,036,631
減少の部		
1 資産減少額		
当期収支差額	23,117,313	
松尾賞積立預金取崩額	1,000,000	
研究開発班設置基金取崩額	5,000,000	29,117,313
2 負債増加額		
退職給与引当金繰入額	2,453,480	2,453,480
減少額合計		31,570,793
当期正味財産増減額		3,534,162
前期繰越正味財産額		375,088,886
期末正味財産額合計		371,554,724

貸 借 対 照 表  
平成18年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金預金	43,149,410	
郵便振替	14,555,978	
前払金	4,755,000	
仮払金	10,000,000	
未収入金	830,735	
流動資産合計		73,291,123
2 固定資産		
1)基本財産		
投資有価証券	36,000,000	
基本財産合計	36,000,000	
2)その他の固定資産		
退職給与引当預金	9,786,010	
減価償却引当預金	2,500,000	
国際交流積立預金	4,500,000	
名簿刊行積立預金	10,000,000	
選挙関係費積立預金	0	
事務所整備積立預金	84,000,000	
学術奨励積立預金	115,500,000	
松尾賞基金預金	6,500,000	
研究開発班設置基金預金	10,000,000	
伊東賞基金預金	28,036,631	
電話加入権	192,800	
家屋賃貸借契約敷金	16,384,500	
その他の固定資産合計	287,399,941	
固定資産合計		323,399,941
資 産 合 計		396,691,064
負債の部		
1 流動負債		
前受金	1,478,500	
仮受金	2,025,000	
未払金	3,086,991	
預り金	308,339	
流動負債合計		6,898,830
2 固定負債		
退職給与引当金	18,237,510	
固定負債合計		18,237,510
負 債 合 計		25,136,340
正味財産の部		
正味財産		371,554,724
(うち基本金)		( 36,000,000 )
(うち当期正味財産増減額)		( 3,534,162 )
負債及び正味財産合計		396,691,064

## 計 算 書 類 に 対 す る 注 記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
個別法に基づく原価基準である。
- (2) 退職給与引当金の計上基準  
職員が自己都合により退職した場合に対する退職金の100%相当額を計上している。
- (3) 資金の範囲  
資金の範囲は、現金預金、前払金、仮払金、未収入金、前受金、仮受金、未払金および預り金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載のとおりである。
- (4) 消費税の会計処理について  
消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

### 2. 基本財産の増減はない。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
基本財産	36,000,000	36,000,000

### 3. 担保に供している資産はない。

### 4. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	79,272,729	57,705,388
前払金	4,118,000	4,755,000
仮払金	10,981,333	10,000,000
未収入金	747,235	830,735
合 計	95,119,297	73,291,123
前受金	1,133,000	1,478,500
仮受金	2,011,500	2,025,000
未払金	2,201,914	3,086,991
預り金	263,277	308,339
合 計	5,609,691	6,898,830
次期繰越収支差額	89,509,606	66,392,293

### 5. 保証債務はない。

財 産 目 録

平成18年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	金 額
<b>資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金手許残高	71,956		
りそな銀行本郷支店ほか	43,077,454		
東京00130-8-93294	14,555,978		
第79・80回学術集会補助金	4,000,000		
理事会会場費	755,000		
第79・80回学術集会貸付金ほか	10,000,000		
学会誌(和文33-1)以降広告料	400,000		
学会誌(和文31-6)以降別刷料ほか	430,735		
流 動 資 産 合 計		73,291,123	
<b>2 固定資産</b>			
<b>1) 基本財産</b>			
投資有価証券 中央三井信託銀行日本橋営業部 貸付信託	36,000,000		
基 本 財 産 合 計	36,000,000		
<b>2) その他の固定資産</b>			
退職給与引当預金 りそな銀行本郷支店 定期預金	9,786,010		
減価償却引当預金 "	2,500,000		
国際交流積立預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店 "	4,500,000		
名簿刊行積立預金 りそな銀行本郷支店 "	10,000,000		
選挙関係費積立預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店 "	0		
事務所整備積立預金 三菱東京UFJ銀行春日支店 "	84,000,000		
学術奨励積立預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店 "	30,000,000		
" みずほ銀行本郷支店 "	85,500,000		
松尾賞基金預金 郵便局 "	6,500,000		
研究開発班設置基金 三菱東京UFJ銀行本郷支店 "	10,000,000		
伊東賞基金預金 みずほ銀行本郷支店 "	28,036,631		
電話加入権 3813-5540,5804-8410	192,800		
敷 有(有)クロセピアビル	16,384,500		
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	287,399,941		
固 定 資 産 合 計		323,399,941	
資 産 合 計			396,691,064
<b>負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
前受会費 平成18年度以降分会費	1,398,500		
前受WFUMB 平成18年度WFUMB購読料	20,000		
前受専門医試験 第16回専門医認定試験受験料	60,000		
会費仮受金 入会未承認新入会員入金分	2,025,000		
仮受金 未確定分の会費収入	0		
未払金 委員会会議費等	2,234,091		
" 平成17年度消費税	852,900		
預り金 平成17年度分雇用保険料ほか	308,339		
流 動 負 債 合 計		6,898,830	
<b>2 固定負債</b>			
退職給与引当金	18,237,510		
固 定 負 債 合 計		18,237,510	
負 債 合 計			25,136,340
正 味 財 産			371,554,724


(資料3)


## 平成17年度収支決算監査報告

平成17年度収支決算について、監査をおこなったところ、適正な経理が行われたことを認めます。

平成18年4月17日

社団法人日本超音波医学会

監事 北島 顕 

監事 小井 貴一 


# 監 査 報 告 書

平成 18 年 4 月 18 日

社団法人日本超音波医学会  
理事長 松 崎 益 徳 殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士

馬 目 利 昭 

私は、社団法人日本超音波医学会の平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの事業年度の計算書類、すなわち、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録についての監査を行った。この計算書類の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、社団法人日本超音波医学会の上記事業年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

社団法人日本超音波医学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(資料4)

## 平成18年度事業計画(案)

(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

平成18年度における本会の事業計画は次のとおりである。

### 学会誌の発行

「超音波医学」(和文誌)第33巻Supplement号、第33巻3号から6号と第34巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol.33 No.2からNo.4とVol.34 No.1までの4冊、計11冊を発行し、会員に配付する。

### 学術集会

学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は学会誌として発行する。

第79回学術集会 (会長 田中幸子)

平成18年5月26日～28日 於：大阪国際会議場(大阪府)

以降の予定

第80回学術集会 (会長 鄭 忠和)

平成19年5月18日～22日 於：城山観光ホテル・かごしま県民交流センター(鹿児島県)

第81回学術集会 (会長 別府慎太郎)

平成20年春開催予定 於：未 定

### 地方会学術集会

下記の地方会の開催を予定している。

#### a. 北海道地方会学術集会

第31回 会長 島 本 和 明

平成18年10月7日 於：タケダ札幌ビル(札幌市)

第32回 会長 須賀俊博

平成19年2月24日 於：タケダ札幌ビル(札幌市)

#### b. 東北地方会学術集会

第32回 会長 小松田智也

平成18年9月24日 於：秋田市民交流プラザALVE(秋田市)

第33回 会長 千葉 裕

平成19年3月11日 於：民陵会館(仙台市)

#### c. 関東甲信越地方会学術集会

第18回 会長 貴田岡正史

平成18年10月28日～29日 於：シェーンバツ八砂防・全共連ビル(千代田区)

#### d. 中部地方会学術集会

第24回 会長 岩瀬三紀

平成18年9月10日 於：名古屋市立大学(名古屋市)

第25回 会長 川 鱈市郎

平成19年3月頃 於：未 定(岐阜市)

#### e. 関西地方会学術集会

第32回 会長 藤本泰久

平成18年8月26日 於：大阪国際会議場(大阪府)

第33回 会長 赤阪隆史

平成19年2月3日 於：ホテルアパローム紀の国(和歌山市)

#### f. 中国地方会学術集会

第42回 会長 正岡 博

平成18年9月16日 於：広島国際会議場(広島市)

#### g. 四国地方会学術集会

第16回 会長 澤田誠三

平成18年10月7日 於：ふれあい健康館(徳島市)

#### h. 九州地方会学術集会

第16回 会長 三原謙郎

平成18年9月17日 於：宮崎JA・AZMホール(宮崎市)

### 教育セッション

第5回

平成18年5月27日～28日 於：大阪国際会議場(大阪府)

### 各種委員会等

#### 1. 企画委員会

a. 本学会正会員増についての検討を引き続き行う。

b. 各認定資格の再編についての検討を引き続き行う。

c. その他、理事長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、委員会独自の提言を行う。

#### 2. 機器及び安全に関する委員会

a. 「超音波の安全性」についての調査、啓蒙活動を行う。

b. 超音波診断機器用プローブの温度上昇に関する調査、及び検討を行う。

また、劣化プローブの自動判定に関する調査、及び検討を外部研究組織と協力して行う。

c. 超音波造影剤の安全性について、調査、及び検討を行う。

1) バブルの安全性に関する動物実験を行う。

2) 標本資料読影者との連携を深め、バブルの影響の詳細な検討を行う。

d. DICOM規格に関する超音波画像の運用等について、検討する。

e. その他

#### 3. 編集委員会

a. 「超音波医学」(和文誌)第33巻Supplement号(年次学術集会抄録号)、第33巻3号から6号と第34巻1号から2号までの7冊、及び

- 「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol.33, No.2からNo.4 とVol.34, No.1までの4冊、計11冊を発行する。
- b. 日本超音波医学会アーカイブスの設立と充実を図る。(「超音波医学」第1巻(1974)～第27巻(2000)のデジタル化)
4. 用語・診断基準委員会
- a. 医用超音波用語関係
- 1) 「医用超音波用語集」の改訂のための準備を継続的に行う。
- b. 超音波診断基準関係
- 1) 「心機能の標準的計測法とその解説」を完成し、学会誌に公示する。
- 2) 「新生児・乳児の股関節脱臼診断基準の分類とその基準」を完成し、学会誌に公示する。
- 3) 「肝腫瘍の超音波診断基準」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
- 4) 「結節性甲状腺診断基準」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
- 5) 「眼科領域計測法のためのガイドライン」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
- 6) 「深部静脈血栓症超音波診断ガイドライン」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
- 7) 「頸動脈超音波診断ガイドライン」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
- 8) 「泌尿器科の超音波診断基準」の改訂に向けて小委員会を設置し、検討を行う。
5. 保険委員会
- a. 外保連、及び内保連へ診療報酬点数改定、新規適用要望書を提出する。
- b. 他学会及び関連学会との情報交換を行う。
- c. 各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の現状をアンケート調査し、今後の内保連や外保連への要望の参考にする。
6. 国際交流委員会
- a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
- 「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
- 1) 2006年度JSUM Fellowship研修生の研修を実施する。
- 2) 2007年度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考する。
- 3) 今後の国際貢献のあり方について検討する。
- b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
- 1) 2007年にバンコック(詳細未定)にて開催される第8回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
- 2) 2006年にソウル(平成18年5月28日～6月1日)にて開催される第11回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
- 3) WFUMBとAFSUMBの関連機関誌、及び本学会ホームページにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行う。
- 4) WFUMBとAFSUMBのEducation Programに協力する。
7. 教育委員会
- a. 第79回学術集會会期中の平成18年5月27日(土)、28日(日)に大阪国際会議場(大阪府)を会場として、第5回教育セッションを開催する。
- b. 第80回学術集會会期中に鹿児島市にて開催予定の「第6回教育セッション」の企画案を検討し、開催に向けての準備を行う。
- c. 「超音波専門医研修カリキュラム」の英語版完成に向けての検討を行う。
- d. 「超音波診断法講習会」の開催についての検討を行う。
8. 超音波専門医制度委員会
- a. 平成18年度研修施設の指定を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
- b. 第16回超音波専門医認定試験を実施し、合格者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
- c. 第12回超音波専門医資格更新を実施し、更新者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
- d. 平成18年度超音波指導医の新規自薦申請者の公募を行い、新規及び再委嘱候補者の審査を行い、委嘱を行った上で委嘱状を交付し、併せて学会誌に公示する。
- e. 第17回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、準備を進める。
- f. 第13回超音波専門医更新に関する会告を公示する。
- g. 平成19年度研修施設の指定に向けての審査を行う。
- h. 有限責任中間法人日本専門医認定制機構評議員会に出席する。
- i. 本制度の改革・整備に向けての審議を行う。
- j. 本制度に関する会員への啓蒙を積極的に行う。
- k. 本制度に関する他学会との連携を深める。
9. 顕彰委員会
- a. 第20回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
- b. 第8回特別学会賞の選考を行う。
- c. 第7回奨励賞の選考を行う。
- d. 第6回技術賞の選考を行う。
- e. 第5回松尾賞の選考を行う。
- f. 第1回伊東賞の選考を行う。
10. 超音波検査士制度委員会
- a. 第22回超音波検査士認定試験を実施する。
- b. 2007年超音波検査士資格更新を実施する。
- c. 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
- d. 超音波検査士制度を充実させる。
11. 超音波工学フェロー認定審査委員会
- a. 第8回超音波工学フェローの認定審査を行い、適格と判定した者を理事会の議を経て認定し、希望者には認定証を交付する。
- b. 第9回超音波工学フェローの公募を行う。
- c. 第3回超音波工学フェロー資格更新の公募を行う。
- d. 資格更新システムのIT化についての検討を行う。
12. 研究開発促進委員会
- a. 平成18年度研究開発班の設置申請についての審査を行い、研究開発班の設置を認可する。
- b. 平成18年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。
- c. 平成19年度研究開発班の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
- d. 平成19年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
- e. 第79回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施する。
13. 倫理委員会

- a. 超音波医学の研究、診療、教育情報、安全に関する倫理的諸問題について審議、及び検討を行う。
  - b. 必要な時には倫理委員会委員として外部委員の選任を行う。
14. 会員資格審査関係  
会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行う。
- 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
  - 2) 除名該当者の審査
  - 3) 会員種別変更希望者の審査
  - 4) 休会希望者の審査
15. 学術集会関係  
第82回学術集会会長候補者について、役員及び評議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定する。
16. 地方会関係
- a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
    - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
    - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付する。
    - 3) 地方会学術集会に関して助言を行う。
    - 4) 地方会講習会に関して助言を行う。
  - b. 地方会運営委員長会議の開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
  - c. 地方会を通じたの正会員数増加の推進を行う。
17. 規約関係  
理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。
18. インターネット関係  
引き続き本学会会員のためのWEBシステムの改良を行い、会員への利便を図る。
- . 日本医学会関係
- 1. 第77回日本医学会定例評議員会に参加する。
  - 2. 日本医学会シンポジウムに協力する。
- . 日本学術会議関係
- 1. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加する。

平成18年度収支予算書(案)

収入の部

(単位:円)

科	目	平成17年度予算	平成18年度予算	摘要
基本財産運用収入	基本財産利息収入	20,000	20,000	
会費収入		151,073,000	149,682,500	
	正会員会費	(108,407,000)	(106,314,000)	@13,000 <sup>円</sup> x 8,178 <sup>人</sup>
	準会員会費	(39,565,000)	(40,330,000)	@10,000 <sup>円</sup> x 1,310 <sup>人</sup> , @7,000 <sup>円</sup> x 3,890 <sup>人</sup>
	学生会員会費	(21,000)	(38,500)	@3,500 <sup>円</sup> x 11 <sup>人</sup>
	賛助会員会費	(3,080,000)	(3,000,000)	@40,000 <sup>円</sup> x 75 <sup>名</sup> (24 <sup>社</sup> )
入会金収入		1,131,000	1,131,500	正@2,000 <sup>円</sup> x 320 <sup>人</sup> , 準@1,500 <sup>円</sup> x 325 <sup>人</sup> , 学@1,000 <sup>円</sup> x 4 <sup>人</sup>
広告収入	学会誌	3,320,000	2,960,000	
学術集会収入		54,550,000	72,400,000	
	参加費収入	(29,550,000)	(29,100,000)	
	展示収入等	(25,000,000)	(43,300,000)	
地方会関係収入	地方会学術集会収入	48,990,000	45,130,000	
学会誌別刷収入		600,000	500,000	和文誌6回
WFUMB機関誌収入		1,800,000	1,800,000	@10,000 <sup>円</sup> x 180 <sup>冊</sup>
専門医制度関係収入		8,980,000	5,735,000	
	認定試験	(2,160,000)	(2,160,000)	@20,000 <sup>円</sup> x 108 <sup>人</sup>
	更新認定料	(5,170,000)	(2,375,000)	@10,000 <sup>円</sup> x 230 <sup>人</sup> , @5,000 <sup>円</sup> x 13 <sup>人</sup>
	資料頒布料	(1,650,000)	(1,200,000)	問題集@6,000 <sup>円</sup> x 150 <sup>冊</sup> , 研修手帳@3,000 <sup>円</sup> x 100 <sup>冊</sup>
工学Field制度関係収入		177,000	52,000	
	認定審査	(177,000)	(25,000)	
	更新認定料	(0)	(27,000)	
検査士制度関係収入		35,200,000	42,300,000	
	認定試験	(31,350,000)	(38,000,000)	@20,000 <sup>円</sup> x 1,600 <sup>人</sup> , @5,000 <sup>円</sup> x 1,200 <sup>人</sup>
	更新認定料	(3,750,000)	(4,250,000)	@5,000 <sup>円</sup> x 850 <sup>人</sup>
	資料頒布料	(100,000)	(50,000)	ガイドライン@1,000 <sup>円</sup> x 50 <sup>冊</sup>
教育関係収入		800,000	2,010,000	
	教育セッション	(800,000)	(2,000,000)	@2,000 <sup>円</sup> x 1000 <sup>人</sup>
	資料頒布料	(0)	(10,000)	卒後研修カリキュラム@1,000 <sup>円</sup> x 10 <sup>冊</sup>
雑収入		2,200,000	2,000,000	
受取利息収入		140,000	100,000	
特定預金取崩収入		11,500,000	15,000,000	
	学術奨励積立預金取崩収入	(5,500,000)	(8,000,000)	
	松尾賞積立預金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	
	研究開発班設置積立取崩収入	(5,000,000)	(5,000,000)	
	伊東賞積立預金取崩収入	(0)	(1,000,000)	
当期収入合計		320,481,000	340,821,000	
前期繰越収支差額				
収入合計				

支出の部

(単位：円)

科 目		平成17年度予算	平成18年度予算	摘 要
事業費	学会誌経費	56,824,000	60,560,000	英文誌発行（4回/年） @200,000 <sup>円</sup> /月×6 <sup>ヶ月</sup> ×3 <sup>人</sup> @3 <sup>号</sup> ×115 <sup>00円</sup> /\$×8,516 <sup>号</sup> 機関誌 @110 <sup>号</sup> /年×190 <sup>冊</sup> ×116 <sup>45円</sup> /\$ 第79回 74,440,000 <sup>円</sup> ，事務局旅費他 736,000 <sup>円</sup> 企画 448,000 <sup>円</sup> ，機器・安全 2,703,000 <sup>円</sup> 保険 507,000 <sup>円</sup> ，用語・診断 3,299,000 <sup>円</sup> 規約 50,000 <sup>円</sup> ，インターネット 1,334,000 <sup>円</sup> 倫理 100,000 <sup>円</sup> 前年度繰越金の再交付を含む 日本専門医認定制機構年会費・事業経費を含む 試験会場（東京・大阪） 超音波医学研修ガイドライン 第79回学会開催中に実施 卒後超音波研修カリキュラム（英語版）印刷等 特別学会賞，菊池賞，奨励賞，技術賞，松尾賞，伊東賞
	国際交流関係費	5,600,000	6,840,000	
	WFUMB機関誌関係費	2,700,000	2,769,000	
	学術集会経費	59,722,000	75,136,000	
	学術集会補助金	(59,722,000)	(74,966,000)	
	委員会等関係費	(0)	(170,000)	
	地方会関係費	2,000,000	2,000,000	
	地方会関係費	8,517,000	8,441,000	
	地方会関係費	65,696,000	61,765,000	
	地方会関係費	(48,990,000)	(45,130,000)	
	地方会関係費	(16,386,000)	(16,315,000)	
	地方会関係費	(320,000)	(320,000)	
	地方会関係費	5,200,000	5,386,000	
	地方会関係費	(2,630,000)	(3,086,000)	
	地方会関係費	(2,570,000)	(2,300,000)	
	地方会関係費	(0)	(0)	
	地方会関係費	741,000	703,000	
	地方会関係費	(468,000)	(377,000)	
	地方会関係費	(273,000)	(326,000)	
	地方会関係費	12,900,000	16,281,000	
	地方会関係費	(11,500,000)	(15,124,000)	
	地方会関係費	(1,100,000)	(1,157,000)	
	地方会関係費	(300,000)	(0)	
	地方会関係費	5,270,000	5,610,000	
	地方会関係費	(637,000)	(3,380,000)	
	地方会関係費	(2,583,000)	(880,000)	
	地方会関係費	(2,050,000)	(1,350,000)	
地方会関係費	6,130,000	5,530,000		
地方会関係費	18,000,000	18,000,000		
地方会関係費	(15,000,000)	(15,000,000)		
地方会関係費	(2,000,000)	(2,000,000)		
地方会関係費	(1,000,000)	(1,000,000)		
事業費計		249,300,000	269,021,000	
管理費	人件費	38,830,000	40,620,000	
	会計顧問料	425,000	500,000	
	福利厚生費	700,000	700,000	
	法定福利費	4,900,000	4,900,000	
	職員交通費	1,550,000	1,550,000	
	事務所賃借料	7,820,000	7,820,000	
	事務用機器賃借料	710,000	710,000	
	備品費	400,000	400,000	
	文具消耗品費	800,000	800,000	
	光熱水料	650,000	650,000	
	事務OA化費	500,000	500,000	
	会議費	3,000,000	3,000,000	
	印刷費	1,400,000	1,400,000	
	通信費	3,400,000	3,400,000	
	公租公課	1,200,000	1,200,000	
	雑費	496,000	500,000	
	払込手数料	1,700,000	1,700,000	
選挙関係費	2,200,000	50,000		
管理費計		70,681,000	70,400,000	
特定預金支出	退職給与引当預金支出	0	900,000	
予備費		500,000	500,000	
当期支出合計		320,481,000	340,821,000	
当期収支差額				
次期繰越収支差額				

(資料6)

## 社団法人日本超音波医学会 平成18・19年度役員及び評議員

(自平成18年5月28日 至平成20年度通常総会開催日)

理事長	千田 彰一						
副理事長	遠藤 信行	岡井 崇					
理事	秋山いわき	跡見 裕	金井 浩	工藤正俊	椎名 毅	竹内和男	竹中 克
	田中幸子	谷口信行	鄭 忠和	万代恭嗣	別府慎太郎	増山 理	松崎 益徳
	森安史典	山下裕一	山本克之				
監事	里見元義	千原國宏					
評議員	赤阪隆史	秋本 伸	秋山隆弘	飯島 尋子	石川洋子	石蔵文信	石田秀明
	石光敏行	伊集院裕康	市塚清健	市橋 光	伊藤彰浩	伊藤貴司	伊藤秀一
	伊藤 浩	伊藤嘉信	乾 和郎	植木敏晴	植野 映	上松正朗	内田政史
	宇都宮俊徳	梅村晋一郎	浦岡佳子	遠藤登喜子	大木 崇	大崎往夫	大槻茂雄
	大柳光正	岡 博子	小笠原康夫	尾形仁子	小川真広	尾辻 豊	小野尚文
	小野塚久夫	小野寺博義	尾本きよか	春日井博志	加藤保之	金政 健	金光敬一郎
	唐沢英偉	川合宏哉	川内章裕	川嶋栄司	河野敏彦	神田良一	木佐貫 彰
	木田光広	貴田岡正史	木原康樹	許 俊鋭	工藤信樹	久保光彦	熊田 卓
	黒肱敏彦	黒松亮子	小井戸一光	神崎修一	上妻志郎	國分茂博	西條芳文
	斎藤明子	斉藤尚孝	斉藤裕輔	酒井輝文	佐々木 明	佐々木勝己	佐々木 博
	椎名秀一朗	汐崎 陽	重田浩一朗	篠村隆一	地挽隆夫	島本佳寿広	下村壯治
	庄野弘幸	白木克哉	鈴木真事	住野泰清	須山正文	諏訪道博	瀬尾育武
	高沢謙二	高田悦雄	高橋正一郎	高橋正明	高本真一	宝田 明	竹内康人
	武田 正	田中伸明	棚橋善克	田内 潤	千葉喜英	津田雅之	鶴長泰隆
	鄭 浩柄	東野英利子	戸原恵二	中尾伸二	長川達哉	中川 浩	中島美智子
	中谷 敏	中村一彦	中村昌平	中村武史	名取道也	仁木清美	西垣洋一
	西川かおり	西村敏博	沼田 功	野田愛司	野間 充	橋本千樹	秦 幸吉
	畠 二郎	秦 利之	羽田勝征	蜂屋弘之	馬場一憲	濱滝壽伸	原 量宏
	原田烈光	原田昌彦	東泉隆夫	平井都始子	平田健一郎	平田真美	平野 豊
	平間 信	廣岡芳樹	福田信夫	藤井康友	藤田直孝	藤本真一	古幡 博
	堀口祐爾	本田伸行	幕内雅敏	舛形 尚	松田康雄	松谷正一	松本廣嗣
	松本正幸	丸山紀史	三神大世	水重克文	三谷正信	皆越真一	嶺 喜隆
	三原修一	宮武邦夫	宮本幸夫	村田和也	望月 剛	森 秀明	八木晋一
	安田是和	柳原敏宏	山雄健次	山口 徹	山越芳樹	山田博康	山近史郎
	山中桓夫	山根隆明	山本一博	山本敏樹	湯田 聡	尹 聖哲	吉川純一
	吉田 清	吉田 寛	林 英幸	渡辺五朗	渡邊精四郎		

(資料7)

**除 名 者**  
(平成18年3月31日現在該当者)

364名

内訳 正 会 員 264名

準 会 員 99名

学生会員 1名

賛助会員 2社

(資料8)

## 名 誉 会 員 推 薦

本学会名誉会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. (19610020) ツミ ヨカ 堤 裕 氏 1931年(昭和6年)3月6日
2. (19630007) タケウチヒサヤ 竹内久彌 氏 1933年(昭和8年)12月8日
3. (19640013) タナカ モトナオ 田中元直 氏 1932年(昭和7年)1月1日
4. (19690012) キハタ アキラ 北畠 顕 氏 1940年(昭和15年)9月2日
5. (19690030) ナトリ ヒロシ 名取 博 氏 1940年(昭和15年)7月23日
6. (19710041) ナカヤマ キヨシ 中山 淑 氏 1940年(昭和15年)7月20日
7. (19730007) イトウ ケンイチ 伊藤健一 氏 1923年(大正12年)2月3日
8. (19740010) イトウ コウイチ 伊東紘一 氏 1940年(昭和15年)12月20日
9. (19750014) イトウ マサヤス 伊東正安 氏 1941年(昭和16年)1月25日
10. (19830284) スガキ ヲラモトアキ 菅原基晃 氏 1941年(昭和16年)3月11日

## 功 勞 会 員 推 薦

本学会功勞会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. (19730073) ハヤシ テルミ 林 輝美 氏 1941年(昭和16年)3月14日
2. (19760021) オオエ ヒロシ 大江 宏 氏 1940年(昭和15年)5月13日
3. (19790090) サイショヒロミツ 税所宏光 氏 1940年(昭和15年)5月29日
4. (19800303) オオイシ ゲンメ 大石 元 氏 1941年(昭和16年)2月23日

## 第8回特別学会賞

北 畠 颯 (医療法人財団済美会昭和病院)

北 村 次 男 (大阪中央病院検診センター)

## 第5回松尾賞

該当者なし

## 第6回技術賞

Differential Tissue Harmonic Imaging  
川岸 哲也、今村 智久、瀧口 宗基  
(東芝メディカルシステムズ(株)超音波開発部)

## 論 文 賞

### 第20回菊池賞

A basic study on sonoporation with microbubbles exposed to pulsed ultrasound .....E32(1)  
Kengo OKADA<sup>1</sup>, Nobuki KUDO<sup>1</sup>, Koichi NIWA<sup>2</sup>, Katsuyuki YAMAMOTO<sup>1</sup>  
(<sup>1,2</sup>Hokkaido University)

### 第1回伊東賞

Contrast-enhanced multiphase dynamic ultrasonography for the characterization of liver tumors .....E32(2)  
Sachiko TANAKA<sup>1</sup>, Yoshihiro HAMADA<sup>1</sup>, Tatsuya IOKA<sup>1</sup>, Takashi SUGIYAMA<sup>2</sup>, Iwao AKAMATSU<sup>2</sup>, Rena TAKAKURA<sup>1</sup>,  
Fumi YOSHIOKA<sup>1</sup>, Akihiko NAKAIZUMI<sup>1</sup>, Tetsushi ISHIDA<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>Osaka Medical Center for Cancer and CVD, <sup>2</sup>Hitachi Medical Corporation)

Effects of sublingual nitroglycerin on working conditions of the heart and arterial system: analysis  
using wave intensity .....E32(4)  
Kiyomi NIKI<sup>1</sup>, Motoaki SUGAWARA<sup>1</sup>, Dehua CHANG<sup>1</sup>, Akimitsu HARADA<sup>2</sup>, Takashi OKADA<sup>2</sup>, Rie TANAKA<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>Tokyo Women's Medical University School of Medicine, <sup>2</sup>Aloka Co. Ltd, <sup>3</sup>Nihon Kohden Corp)

### 【顕彰委員会】

委員長

菅原基晃

副委員長

里見元義

委員

(基礎) 秋山いづき 椎名 毅  
(消化器) 秋本 伸 斉藤 明子 渡辺 五朗  
(循環器) 高沢 謙二 竹中 克 吉田 清  
(産婦人科) 上妻 志郎  
(泌尿器) 齊藤 雅人 中村 昌平  
(総合) 小西 豊 谷口 信行

以上15名